

**製品名: TGR5 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab18867**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率 WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300,ELISA 1:2000-1:20000

分子量

**抗原情報**

遺伝子名	GPBAR1
別名	GPBAR1; TGR5; G-protein coupled bile acid receptor 1; G-protein coupled receptor GPCR19; hGPCR19; Membrane-type receptor for bile acids; M-BAR; hBG37; BG37
遺伝子 ID	151306.0
SwissProt ID	Q8TDU6
免疫原	抗血清はヒト GPBAR 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 11-60

**背景**

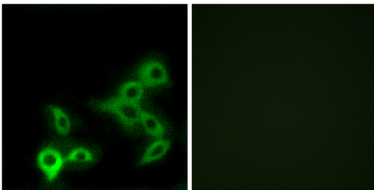
この遺伝子は、G タンパク質共役受容体 (GPCR) スーパーファミリーのメンバーをコードしています。この酵素は、胆汁酸の細胞表

面受容体として機能します。この GPCR を発現している細胞を胆汁酸で処理すると、細胞内 cAMP の産生、MAP キナーゼシグナル伝達経路の活性化、および受容体の内在化が誘導されます。この受容体は、胆汁酸によるマクロファージ機能の抑制とエネルギー恒常性の調節に関与しています。選択的スプライシングにより、同じタンパク質をコードする複数の転写バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、機能: 胆汁酸の受容体。胆汁酸との結合により、その内在化、細胞外シグナル制御キナーゼの活性化、および細胞内 cAMP 産生が誘導されます。胆汁酸によるマクロファージ機能の抑制に関与している可能性があります。類似性: G タンパク質共役受容体 1 ファミリーに属します。組織特異性: 普遍的に発現しています。脾臓と胎盤で高発現しています。その他の組織では低発現です。消化器組織では、胃、十二指腸、回盲部、回腸、空腸、上行結腸、横行結腸、下行結腸、盲腸、肝臓で発現していますが、食道と直腸では発現していません。

## 研究分野

シグナル伝達; シグナル伝達経路; G タンパク質シグナル伝達; GPCR

## 画像データ



GPBAR 抗体を用いた LOVO 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした状態。